

## 2022年度イスラーム信託学科研全体集会 参加報告

マラヤ大学大学院イスラーム研究科シャリーアと経済学修士課程

佐藤 誉翼

全体集会にて先生方の発表を拝見させていただいたことに加え、ポスター発表をさせていただいたこと感謝しております。初めての対面での集会への参加でしたので緊張しましたが、『対立と紛争のなかで、つなぐ』をテーマに様々な観点から報告されているのを見て大きな学びとなりました。

特に鈴木さんの発表は、イスラエルの帰国子女としてとても興味深く拝聴しました。例えば私の友人も、戦争はしたくないのに、兵役に行くことに文句を言っていたり、アラブ人と一緒に仕事をすることが一般的だった高齢者世代は、「アラブだから」という理由で悪いイメージを持っていない人もいたりしたので、「誰が生み出そうとしている分断なのか」ということに再度考えるきっかけとなりました。

また、私自身の所属している大学の性質上、自身の研究を発表する場がほぼ無いため今回ポスター発表という形で発表させて頂けたのはとてもありがたい経験でした。今回、「ワクフの持つ富の再分配効果について」というタイトルで、富の再分配の手段として、社会基金と近い役割を持つワクフについてまとめ、マレーシアのセラングール州の例を交えて発表を行いました。実際に多くの先生方に意見をいただき、ご指摘を通して、まとめ方や切り取り方が西洋的になってしまう場合もあるので、イスラームとして経済の見方に注意して分析してみる必要があると感じました。ポスター発表では、英語でも研究を説明させていただく機会もあり、普段発表する場とは異なる専門の方に英語で発表するというのは、貴重な体験でした。このポスター発表をとおして、自身の研究に対しての理解が深まり、今後の改題も見え大変ありがたい経験となりました。本当にありがとうございました。